

令和3年11月26日

各位

のと共栄信用金庫

令和3年度上半期業績を公表
 ——コア業務純益 3期連続の増益 ——

のと共栄信用金庫（七尾市／理事長 鈴木正俊）は26日、令和3年度の上半期業績を公表しました。

貸出金利回りの低下により資金運用収益は減少したものの、役務取引等収益が2期振りに増収になったことや経費の削減に努めたことにより、コア業務純益は3期連続の増益となりました。

経常収益が2期連続の減収となる一方で、経費の削減に加え、不良債権処理費用や株式等売却損の減少により、経常利益、最終利益は共に2期連続の増益となりました。

預金残高は、前期末（3年3月末）比19億4,600万円（0.59%）増加し、3,273億7,400万円となりました。コロナ禍により経済活動に自粛ムードが広がるなか、法人預金が12億5,000万円（2.18%）減少する一方で、個人預金が17億8,100万円（0.77%）増加しました。また、低金利環境の長期化から、定期性預金が10億4,000万円（0.58%）減少する一方で、要払性預金が29億8,700万円（2.01%）増加しました。

貸出金残高は、前期末比14億2,100万円（0.78%）減少し、1,805億3,700万円となりました。コロナ対策に係る本業支援等に注力した結果、事業性資金が5億4,700万円（0.47%）増加したものの、個人ローンは3億300万円（0.88%）減少し、地方公共団体向けも16億6,500万円（5.19%）減少しました。

金融再生法に基づく不良債権額は、前期末比2億8,800万円（5.63%）減少し48億4,200万円に、不良債権比率も0.14ポイント低下し2.61%となりました。

また、自己資本比率は、前期末比0.20ポイント上昇し13.54%となりました。

なお、通期でも減収増益を見込んでおります。

	経常収益	コア業務純益	経常利益	純利益
2021年 中間期	1,993 (▲0.8%)	318 (15.1%)	251 (61.2%)	184 (84.1%)
2021年 通期	3,885 (▲6.3%)	604 (2.7%)	377 (61.1%)	253 (83.3%)

金額：百万円、カッコ内は前年同期比：%、▲はマイナス、2021年通期は予測

以上

（お問い合わせ先） 総合戦略部
 TEL 0767-52-3450(代)